

第 25 回シヨパン国際ピアノコンクール in ASIA アジア大会 (ホール審査) 総評 コンチェルト AA 部門

●審査員 A

子供たちがカルテットを合わせることで、楽しんで演奏している姿がほほえましかったです。AA、AB 部門では年齢が高くなり、カルテットをよく聞いて上手くアンサンブル出来た方が入賞に結び付いたと思います。

どの部門も全体にレベルが高く確実に演奏されており僅差でした。

コンチェルト部門に多くの方が参加して欲しいものです。

●審査員 B

多くの演奏は大変聴き応えのあるものでした。カルテットをよく聴き、アンサンブルのバランスも良かったです。特に優れていた演奏の特徴として、美しいフレージングやカンテイルーナ（歌うような旋律）における声楽的なフレーズ、そしてよいブレス（音楽的なタイミング）への意識があげられると思います。更に明瞭なアーティキュレーション、華やかな演奏、的確なペダリングは常に高く評価されます。舞曲では、舞曲の特徴を更に表現してください。ヴィルトゥオーゾな曲は笑顔で演奏しましょう。楽しい曲では、深刻になり過ぎないように。何よりも、皆さん、そして皆さんに多くのことを教えてくれた先生方、お疲れさまでした！

●審査員 C

カルテットと楽しそうに演奏されている姿がとても素敵でした。皆さん音楽的にもテクニク的にも高いレベルの演奏でした。ただ、カルテットの響きに合わせながらも、もっと音色変化が出せるといいと思いました。客観的にカルテットとのバランスをとれると更にはいいです。アンサンブルのすばらしさを体を通して経験出来る素晴らしい機会だった事と思います。この経験を糧にこれからも音楽を更に深めていって下さい。

●審査員 D

皆さんの情熱的な演奏に大変好感が持てました。ただ、ソロと比べるとカルテットに負けないようにと考えてしまうことは当然かと思えます。これはごく自然な考え方だと思いますが、くれぐれも身体的な力を使い過ぎて、音が硬くなりすぎないように注意しましょう。豊かな音を得るためには、あくまでも（力まず）自然な重さの使い方を心がけてください。

●審査員 E

I 部門につづき、皆さんがんばっていることが伝わってきました。曲が大きくなり聴きごたえがあります。生のアーティストと合わせることの喜びは人それぞれ差があるように思い

ました。

緊張している子もいましたが、基本的には皆さんがんばっていました。テンポやひびきなど人によってだいぶちがいますが、流れや前へ進む力、構成力、積極性などが弾いた瞬間から伝わってきていました。学習することへのすばらしさを支えている家族や指導者の皆さまが見学した全ての方を見て学ぶステージはすごいことだと思います。レベルも安定していたと思います。楽しかったです。

●審査員 F

弦楽アンサンブルとの協演で楽しく表現出来ました。レガート、カンタービレが実感として身につくよい機会を得られたと思います。テクニックは良好です。ユニゾンの響き、大きなフレーズ、ブレス、休符の音楽の能力を更に高めて下さい。